

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	3年次
科目名	老年看護学実践論Ⅲ(特徴的疾患と看護)					
担当教員	◎船瀬孝子 川喜田恵美 菊本由里 伊藤咲 吉村牧子					
目的	高齢者の主な疾患と看護、認知症高齢者の看護について学ぶ。また、疾患や障害をもちながらも、その人が望む生活とは何かを理解し、老年看護を展開するための方法としての技術(看護過程)について学ぶ。					
目標	1) 老年期に多い疾患・治療・看護ケアについて理解できる。 2) 認知症高齢者に対する看護の方法を理解できる。 3) 高齢者のその人らしさや生活の質を理解し、紙上患者の看護過程の展開ができる。					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、保健医療福祉行政論、社会福祉原論、老年看護学概論、老年看護学実践論Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				0.7
	レポート	課題レポートの成績				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 ③アセスメント覚書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断 医学書院 ④NANDA-1看護診断一定義と分類 医学書院 ⑤生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 医学書院 第3版 2016(978-4-260-02836-3) *教科書①～④は3回生前期までに購入したものである。					
参考資料	授業中に適宜紹介、配布					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	事例を用いて演習を進める。解剖生理や疾患に関する知識や老年看護学での学習内容を活用するため、復習しておくこと。					